

目 次

巻頭言

.....寺 地 孝 之 (i)

論 文

民衆版画の世界.....中 谷 拓 士 (1)

日本国憲法9条とキリスト教非暴力思想の
近似性と可能性.....山 本 俊 正 (23)
—東アジアの平和構築の文脈を中心として—

メタフィクションにおける自己言及的転説法.....岩 松 正 洋 (41)
—ディディエ・マルタンと筒井康隆の作例から—

英語論文コーパスにおける高頻度語連鎖の分析.....梅 咲 敦 子 (59)
—英語教育法と言語運用能力の探究をめざすフレイジオロジー—

フランス語における *Faire*-不定詞使役構文と
OCACCS 仮説田 中 裕 幸 (79)

イギリスのゾンビ映画と19世紀小説における
群集表象.....伊 藤 正 範 (95)

日英語に見る主体の捉え方.....嶋 村 誠 (115)

民国期における商芳臣の活動と評価.....藤 野 真 子 (135)

マティス・リュシーの「リズム」論.....阿 部 卓 也 (153)

近隣居住者の資源としての考古遺跡.....禪 野 美 帆 (171)
—メキシコ市内旧先住民村落とエヒドの事例—

英語圏ナショナリズム論のなかのウェールズ.....大 貫 隆 史 (187)
—1983年のネイション、そして〈個人〉—

年譜・著作目録